漁船海難月報（速報）

平成二十二年四月分

第七管区海上保安本部

漁船転覆海難により二名が死亡

二十一日、長崎県海域で夫婦二名乗りの和船型船外機付き漁船が揚網作業中、船首部から波を受けて転覆。二人とも海に投げ出され、救助を求めるため夫（七三歳）が、泳いで陸に向かいましたが、その後行方不明となりました。数時間後、捜索にあたっていたヘリコプターに発見され、病院に搬送されましたが、死亡が確認されました。妻（七一歳）は、捜索中の地元漁船により救助され一命をとりとめました。両名とも**救命胴衣を着用していなかった**とのことです。

また、二十二日には、大分県海域で転覆した漁船から、男性（七二歳）の遺体が漁網に絡まった状態で発見されました。揚網作業中に着用していた雨合羽がローラーに絡まり、バランスを崩して転覆したものと見られます。

↑救助作業中の巡視船と潜水士

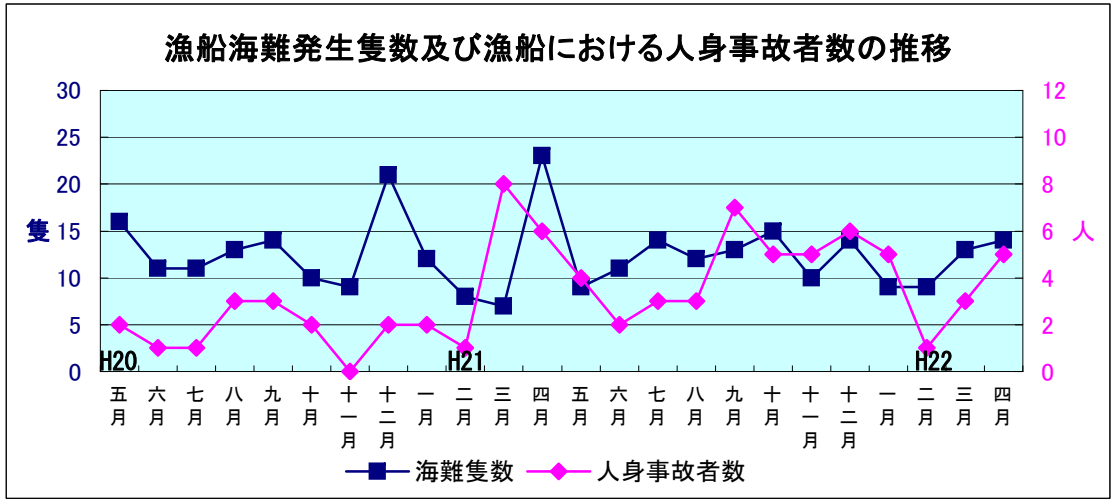
↓転覆した漁船

平成22年4月

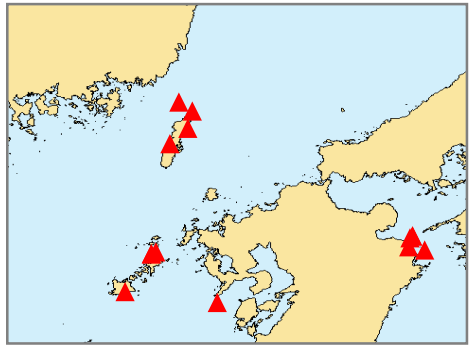
漁船海難隻数（速報値）	
衝突	7
乗揚	2
転覆	2
浸水	0
推進器障害	0
舵障害	0
機関故障	0
火災	0
爆発	0
行方不明	0
運航阻害	2
安全阻害	0
その他	1
合計14隻	

県別（内訳）	
山口県	0
福岡県	0
佐賀県	0
長崎県	9
大分県	5

漁船人身事故者数	
負傷	1
病気	2
海中転落	2
その他	0
合計5名	



平成22年4月
漁船海難発生地点図



本資料は、第七管区海上保安本部管内の海上保安部担任水域内で発生した海難を取りまとめたものです。
県別の表は、各県に所在する海上保安部署において取り扱った海難の合計数を示しています。